

谷津干潟ユースが実施している湿地に関わる取り組み

○河合 千尋・○高山 美衣子・○濱端 一苑 (谷津干潟ユース)

chihiro.12@icloud.com

1. 谷津干潟ユースとは

谷津干潟のラムサール条約登録 20 周年を記念し、2013 年に谷津干潟自然観察センターを拠点に「谷津干潟ユース」が結成された。谷津干潟ユースは谷津干潟の保全と賢明な利用 (ワイズユース) について考え、活動の成果を谷津干潟に還元することを目的にしている。現在、高校生・大学生計 52 名が在籍し、谷津干潟の普及啓発や環境保全に努めている。

2. 活動・取り組み

谷津干潟ユースは毎年 6 月に開催されるイベント「谷津干潟の日」で「谷津干潟の日運営委員会」のメンバーとしてイベントの企画・運営をする他、普段は以下の 5 つのプロジェクトに分かれて活動をしている。

「アオサプロジェクト」では、谷津干潟に大量発生しているアオサを有効活用する為にバイオエタノール化に取り組み、また市民の方々にとって身近な存在になってもらえるようアオサを使用した紙漉き体験などの活動を行っている。

「ホンビノスガイプロジェクト」では、谷津干潟でホンビノスガイがどのように生息しているかをコドラート法で調査しており、干潟の滞筋沿いに多く生息していることがわかってきた。今後は継続的に調査を行い、調査範囲を広げたい。また、高校生が、谷津干潟で採れたホンビノスガイを具に入れ込んだ「ホンビノス中華まん」の作成・販売を計画中である。

「野鳥プロジェクト」は、現在、高校生が主に干潟に飛来する鳥類の個体数調査を行っている。大学生も、他のラムサール条約登録湿地を訪れ、野鳥を中心にとどのような保全活動が行われているかを学び谷津干潟に還元していきたい。

「水質調査プロジェクト」では、四季や潮の満ち引きによる水質の変化について知ることを目的とし、谷津干潟と東京湾を結ぶ水路谷津川を調査地点として年 4 回、上げ潮と下げ潮に分けてパックテスト等を用いた調査を行なっている。

「ソロモンの指環プロジェクト」では、プログラム参加者に野鳥やカニなど谷津干潟の生物を観察してもらって環境教育劇を行っている。観察を通して子供たちに谷津干潟に興味を持ってもらえるよう、楽しく分かりやすい劇を目指して活動している。

また、プロジェクトではないが、他の湿地の保全方法を学ぶため葛西海浜公園や尾瀬などの湿地を訪問する取り組みも行っている。

3. 展望

昨年からはプロジェクトに分かれて活動を始め、活動を続けていく中で更に、これをやってみたい、あれをやってみよう、という思いが出てきた。これまでの活動を継続していただくだけではなく、活動内容を発展させながら、谷津干潟の保全・ワイズユースに貢献できるようどんどん新しいことにも挑戦していきたい。

キーワード：谷津干潟、ユース、ワイズユース、保全、地元の大切な干潟を守る